

教育費予算に対する意見の申出について（報告）

令和元年度一般会計当初予算のうち、教育に関する事務に係る部分の6月定例

県議会提案について知事から意見の聴取があったので、福岡県教育委員会の事務委任

等に関する規則（昭和42年福岡県教育委員会規則第6号）第4条第1項の規定

に基づき臨時代理し、別紙のとおり回答しましたので、同条第2項の規定により報告

し、承認を求めます。

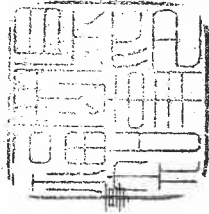
令和元年6月6日

教 育 長

1 財 第 1 9 7 号

令和元年5月27日

福岡県教育委員会 殿



福岡県知

(総務部財政課)

教育費予算の意見聴取について

6月定例県議会に提案予定の令和元年度一般会計当初予算のうち、教育に関する事務に係る部分を別紙のとおり提案しますので「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、貴委員会の意見を聴取します。

(別紙)

## 令和元年度福岡県一般会計予算

第1表 (歳出)

(単位：千円)

款	項	金額
10 教育費		253,966,688
※8～10項除く		
	1 教育総務費	38,620,276
	2 小學校費	79,655,597
	3 中學校費	46,105,317
	4 高等学校費	63,145,988
	5 特別支援学校費	19,600,455
	6 社会教育費	3,959,932
	7 保健体育費	2,879,123
11 災害復旧費		104,677
	4 教育施設災害復旧費	104,677
計		254,071,365

第2表 (債務負担行為)

(単位：千円)

事	項	期間	限度額
教職員住宅解体費		令和2年度	48,752
老朽校舎改築費		令和2年度	1,669,503
施設充実実費		令和2年度	861,291
体育館建設費		令和2年度	1,037,239
校地整備備費		令和2年度	413,177
学校環境整備備費		令和2年度	724,274
特別支援学校整備備費		令和2年度	545,180
特別支援学校老朽校舎改築費		令和2年度	29,440
特別支援学校環境整備備費		令和2年度	57,539
少年自然の家整備備費		令和2年度	30,600

1 教財第195号  
令和元年6月3日

福岡県知事 殿  
(総務部財政課)



福岡県教育委員会  
(財務課予算係)

教育費予算に対する意見の申出について

(対5月27日1財第197号)

6月定例県議会に提案予定の令和元年度一般会計当初予算のうち、教育に関する事務に係る部分に関し、貴職から意見を求められたことについては同意します。

当初予算（案）内容説明書

教育委員会

令和元年度

教育委員会 令和元年度当初予算(案)総括表

一般会計

款	項	令和元年度	平成30年度	増減額	(A/B)(%)	前年度比	令和元年度の財源内訳			備考
		当初予算額	当初予算額				(A)	(B)	(A)-(B)	
10款 教育費	1項 教育総務費	38,620,276	39,630,253	△1,009,977	97.5	8,290,943	3,280,200	307,010	26,742,123	
	2項 小学校費	79,655,597	78,333,564	1,322,033	101.7	22,389,110	0	4,627	57,261,860	
	3項 中学校費	46,105,317	45,709,096	396,221	100.9	11,866,437	0	5,467	34,233,413	
	4項 高等学校費	63,145,988	61,848,873	1,297,115	102.1	32,199	8,996,200	8,703,955	45,413,634	
	5項 特別支援学校費	19,600,455	19,425,746	174,709	100.9	3,230,624	1,176,300	5,398	15,188,133	
	6項 社会教育費	3,959,932	3,843,319	116,613	103.0	78,779	759,500	118,906	3,002,747	
	7項 保健体育費	2,879,123	2,245,474	633,649	128.2	62,335	941,600	222,753	1,652,435	
	11款 災害復旧費	4項 教育施設災害復旧費	104,677	0	104,677	—	0	104,600	0	77
計		254,071,365	251,036,325	3,035,040	101.2	45,950,427	15,258,400	9,368,116	183,494,422	

(単位:千円)

令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目	新規	継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要	
							款項目	数
教職員課 施設課 体育スポーツ 健康課	10	1	4	継続 教員の働き方 改革推進費	99,854	154,472	1	事業目的 教職員の勤務時間に対する意識改革、校務の効率化、部活動の負担軽減の対策を実施することにより、長時間勤務を改善し、子どもと向き合う時間の確保及び健康増進を図る。
							2	2
								(2) 業務の効率化 ① <b>新</b> 「生徒の基本情報等管理システム」を導入し、生徒の出欠や成績処理等の情報を一元管理することにより、業務を効率化 [実施校] 県立学校：中学校4校、高校86校、特支20校 中等教育学校1校 ② 「情報共有システム」により、職員会議に要する時間の短縮や保護者あて連絡文書の電子メール化など、庶務事務を効率化 [実施校] 全県立学校：119校 (3) <b>拡充</b> 部活動の負担軽減 「部活動指導員」の配置を拡充し、部活動の指導や週末日の大会引率等に係る教職員の負担を軽減 [対象校] 市町村立学校：202校(政令市を除く) 県立学校：中学校4校、高校94校、特支14校 中等教育学校1校 [内容] 部活動指導員の配置(年59～76回/校) 生徒理解やスポーツ医・科学等に基づく指導法の研修(年2回) 77,288
								「勤務時間管理システム」 ○カードを用いて、教職員の出勤時刻を記録・管理するシステム(H30導入) ○出勤簿・休暇申請の電子化機能を追加(R1実施)
								「生徒の基本情報等管理システム」 ○生徒の出欠、成績、健康診断などを統合して管理する機能を有するシステム ・15校に先行導入し、システムの検証(R1実施) ・全校で導入(R2実施)
								「情報共有システム」 ○教職員への設備/パソコンで、連絡事項の伝達(掲示板)、施設予約、学校行事・個人スケジュールの共有、保護者あて一斉メール送信ができるシステム(H30導入)
								「部活動指導員」 ○教職員を伴うことなく、部活動指導員単独での指導ができるよう国が制度化 ○通休日の大会への引率も単独で可能

令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目	新規	継続	重点施策 事項名	子算額	前年度 子算額	事業の概要	
							款項目	0
文化財保護課	1063	新規		福岡歴史文化発信・体験事業費	27,791	0	<p><b>1 事業目的</b> 文化財保護法改正（平成31年4月1日）により文化財の利用促進や継承への取組み強化が必要とされていることから、「博物館」と「埋蔵文化財センター」の機能を併せ持つ、本県文化財保護の拠点施設である九州歴史資料館の機能強化を図る。</p> <p><b>2 事業内容</b>                      (1) 本物の文化財を活用した歴史体感学習事業                      16,893                      本物の文化財に触れ、歴史文化を体感しながら学ぶことができる九州歴史資料館の機能強化                      ①キッズ・ミュージアム                      [内容] 三次遺跡を活用した弥生時代の生活体験学習エリアの整備                      児童向け解説パネルの設置                      自然環境を生かした体験エリアの整備                      ②歴史文化の森                      [内容] 三次遺跡活用に向けた発掘調査及び発掘体験の実施                      ③高齢者や障がいのある方等に配慮した展示解説                      [内容] 観覧補助タブレットの導入</p> (2) 県内文化財の情報発信事業 10,898 文化財や調査記録等のデジタル化によるホームページでの活用及び後世への継承 ①文化財情報データベース（ホームページ）の作成 [内容] 文化財基本情報、防犯・防災対策等の普及啓発情報を掲載 ②文化財報告書、写真等のデジタル化 [内容] 県発行の文化財調査報告書、写真資料のデジタル化	
<p>【九州歴史資料館】※R2年度移転開館10周年                      以下の機能を併せ持つ本県文化財保護の拠点施設                      ・各種文化財の調査研究、保存・活用、公開・普及のための「博物館機能」                      ・大宰府史跡等の発掘調査・研究、出土品の収蔵・管理等の「埋蔵文化財センター機能」</p> <p>【三沢遺跡(県指定史跡)】                      ・弥生時代前中期の集落(竃軒の住居と貯蔵穴)遺跡                      ・九州歴史資料館に隣接</p>								



令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

事業の概要	<p>1 事業目的                  ○ インターネットを利用した情報収集やICT機器を活用した授業が展開できるよう無線LAN環境を整備する。                  ○ 次期学習指導要領（R2年度から順次改訂）で求められる主体的・対話的で深い学びによる学習方法をICT環境の整備・活用により推進する。</p> <p>2 事業内容                  (1) 無線LAN環境の整備                  【実施校】 全県立学校                  【内容】 3か年で119校の普通教室及び職員室に無線LANを配備 総数1,488台                  R 1 : 496台、R 2 : 496台、R 3 : 496台                  309,414                  (2) 大型提示装置(固定型プロジェクタ)の配備                  【実施校】 高校・中等教育学校・中学校                  【内容】 4か年で99校の普通教室に配備 総数1,966台                  R 1 : 492台、R 2 : 492台、R 3 : 491台、R 4 : 491台                  15,984                  (3) タブレット型パソコンの配備                  【実施校】 全県立学校                  【内容】 高校・中等教育学校・中学校にタブレット学習用として各校に15台配備 総数1,755台                  特別支援学校の普通教室に1台配備 総数768台                  R 1 : 2,523台 (119校)</p>
-------	---

課名	施設課	10	1	4	新規	県立学校ICT環境整備費	391,540	0
科目	新規	款項目	1	4	新規		前年度	0
							予算額	0
重点施策	重点事項	環境整備費	391,540	0				
予算額	予算額	391,540	0					

主体的・対話的で深い学びとは  
 学ぶことに興味や関心を持ち、自分と他者の意見や考え方を比較して課題を見つけるとともに解決策を考えるなど、見通しをもって粘り強く学習に向かうことができるようにすること。

【整備計画】

(単位：千円)

項目	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	総額
①無線LAN整備	65,086	65,086	65,086	10,560	12,672	195,258
①の保守	1,056	6,336	10,560	12,672	12,672	43,296
計	66,142	71,422	75,646	12,672	12,672	238,554
②大型提示装置配備	306,420	306,420	305,807	305,807	47,890	1,224,454
②の保守	2,994	17,959	29,931	41,904	47,890	140,678
計	309,414	324,379	335,738	347,711	47,890	1,365,132
③タブレット型PC配備	15,984	59,837	59,837	59,837	59,837	255,332
合計	391,540	455,638	471,221	420,220	120,399	1,859,018



令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目	新規	継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	概要	事業の概要	
								款項目	1053
施設課 特別支援 教育課	1053	継続		特別支援学校 整備費	499,906	229,601	1 事業目的 「県立特別支援学校の今後の整備方針について」(平成28年11月策定)及び新設3校について具体的に示した「県立特別支援学校設置計画」(平成31年2月決定)に基づき、特別支援教育環境の充実を図る。	2 事業内容 (1) 教室不足を解消するための校舎増築等 築城特別支援学校、古賀特別支援学校、直方特別支援学校	(2) ① 新設置計画に基づく新設校の設置 築城特別支援学校、古賀特別支援学校、直方特別支援学校 ② PFI導入可能性調査 糸島特別支援学校 (仮称) 宗像特別支援学校 (仮称)、早良特別支援学校 (仮称)



令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目	新規	継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額	事業の概要	
							款	目
高校教育課	10	1	4	新規	長期入院生徒 学習支援 実証研究費	8,220	0	<p>1 事業目的 長期入院生徒（3ヶ月以上）の学習機会の確保のため、在籍校、病院、教育委員会等の関係機関が連携を図り、適切な学習支援の在り方について実証研究を行う。</p> <p>2 事業内容 (1) 学習支援在り方検討委員会の設置 [委員会構成] 病院関係者、学校関係者、教育委員会 [内 容] 今後の長期入院生徒に対する学習支援の在り方を協議 他県の先進事例の調査を行い、最適な学習支援方法について比較検討</p> <p>(2) ICTを活用した遠隔教育の試験的実施 7,901</p> <p>[対象者] 3ヶ月以上入院する高校生</p> <p>[実施内容] ①動画配信授業のための環境整備 ・病院で使用するタブレットPC、授業動画撮影・編集用機器の整備 ・授業動画作成補助員の配置 ②学習支援コーナーネットの配置 ・生徒の学習支援 ・担当医との学習支援計画の確認 ・在籍校との連絡・調整</p>

令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目	新規	継続	事項名	重点施策	前年度	予算額	予算額	0	2 事業内容	事業の概要	
											数	目
高校教育課	10	1	4	新規	情報活用能力向上事業費	33,769				<p>1 事業目的 学習指導要領改訂に伴う情報活用能力の育成に向け、系統的なプログラミン グモデルカリキュラムの作成・実践等を通じたプログラミング教育の円滑な実 施及び小・中・高等学校教員の指導力の向上を図る。</p> <p>2 事業内容 (1) プログラミング教育の円滑な実施に向けた準備 プログラミン教育推進協議会(学識経験者、関連企業等)の設置 ①小中学校における取組 モデルカリキュラムの開発及び教員研修プログラムの作成 協力校(小学校6校、中学校1校)による公開授業の実施、学習 指導事例収集及び各学校への情報提供 ②高等学校における取組 モデルカリキュラムの開発 研究成果資料の作成と報告会の実施</p> <p>(2) 教員に対するプログラミング教育の研修実施 ①小中学校教員の指導力の向上 対象] 中核教員(小学校：R1実施、中学校：R2実施) 管理職(小学校：R1実施、中学校：R2実施) 一般教員(R1～) 内容] 各階層に応じた内容の研修の実施 ②高等学校「情報」担当教員の指導力向上 内容] プログラミン教育関連企業等の講師による研修及び企業実地研 修の実施</p>	25,196	8,573
高校教育課	10	1	4	新規	情報活用能力向上事業費	33,769				<p>1. 小学校学習指導要領の改訂 令和2年度～必修化 各教科の特質に応じ、「プログラミングを体験しながら、 コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な 論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的 に実施 2. 中学校学習指導要領の改訂 令和3年度～技術・家庭科(技術分野) プログラミングに関する内容を倍増 3. 高等学校学習指導要領の改訂 令和4年度～必修科目「情報1」の新設 ～全生徒がプログラミング、データベースの基礎等にっ いて学ぶ</p>		

令和元年度当初予算編成に伴う重点施策

(単位：千円)

課名	科目		新規	継続	重点施策 事項名	予算額	前年度 予算額																												
	款	項目																																	
体育 スポーツ 健康課	10	7	2	新規	競技スポーツ 活性化推進費	33,722	0																												
	<p>【国体出場選手の条件について】                      成年種別に出場する選手は、下記のいずれかを拠点とした都道府県から国体に参加することができる。                      ふるさと選手とは、下記(3)のみの条件で出場する選手のことである。                      (1) 居住地を示す現住所                      (2) 勤務地                      (3) 卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地</p>																																		
<p><b>2 事業内容</b></p> <p><b>1 事業目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内競技団体が行う小中学生(小5～)や成年選手などの優秀な選手の計画的・継続的な育成・強化活動を支援する。また、国体上位入賞者(団体)を本県の『重点種目』として位置づけ、戦略的に強化する。</li> <li>○ これらにより、競技団体が切磋琢磨する環境を構築し、国体常時8位以内入賞の土台をつくり、本県の競技力を維持・向上させ、県民のスポーツへの関心を高める。</li> </ul> <p><b>[実施主体] 県体育協会</b></p> <p><b>(1) 小中学生発掘・強化事業</b></p> <p><b>[対象]</b> 体育協会加盟団体のうち国体少年種別がある39団体</p> <p><b>[内容]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選手発掘のための体験教室の開催</li> <li>・ 指導者招聘への助成</li> <li>・ 遠征、合宿事業への助成</li> </ul> <p><b>(2) 国体ふるさと選手支援事業</b></p> <p><b>[対象]</b> 前年度全国規模大会で上位入賞したふるさと選手</p> <p><b>[内容]</b> 県内開催の国体強化練習に参加する際の旅費を助成</p> <p><b>(3) 重点種目強化事業</b></p> <p>12,300</p> <p><b>[対象]</b> 前年度の国体において上位(1～3位)入賞した種目「重点種目」を有する競技団体</p> <p><b>[内容]</b> 「重点種目」を有する団体が行う遠征、合宿への助成</p> <p><b>内訳(限度額)</b></p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">助成対象 〔重点種目〕を有する団体</td> <td>国体入賞(県1位)</td> <td>400千円(8人)</td> <td>200千円(8人)</td> <td>100千円(8人)</td> <td>国体3位の種目を有する団体</td> </tr> <tr> <td>個人種目</td> <td>400千円(8人)</td> <td>200千円(8人)</td> <td>100千円(8人)</td> <td>国体2位の種目を有する団体</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">団体種目</td> <td>国体1位の種目を有する団体</td> <td>400千円(8人)</td> <td>200千円(8人)</td> <td>100千円(8人)</td> <td>国体1位の種目を有する団体</td> </tr> <tr> <td>国体2位の種目を有する団体</td> <td>200千円(8人)</td> <td>100千円(8人)</td> <td>100千円(8人)</td> <td>国体2位の種目を有する団体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国体3位の種目を有する団体</td> <td>100千円(8人)</td> <td>50千円(8人)</td> <td>200千円(8人)</td> <td>国体3位の種目を有する団体</td> </tr> </table>								助成対象 〔重点種目〕を有する団体	国体入賞(県1位)	400千円(8人)	200千円(8人)	100千円(8人)	国体3位の種目を有する団体	個人種目	400千円(8人)	200千円(8人)	100千円(8人)	国体2位の種目を有する団体	団体種目	国体1位の種目を有する団体	400千円(8人)	200千円(8人)	100千円(8人)	国体1位の種目を有する団体	国体2位の種目を有する団体	200千円(8人)	100千円(8人)	100千円(8人)	国体2位の種目を有する団体		国体3位の種目を有する団体	100千円(8人)	50千円(8人)	200千円(8人)	国体3位の種目を有する団体
助成対象 〔重点種目〕を有する団体	国体入賞(県1位)	400千円(8人)	200千円(8人)	100千円(8人)	国体3位の種目を有する団体																														
	個人種目	400千円(8人)	200千円(8人)	100千円(8人)	国体2位の種目を有する団体																														
団体種目	国体1位の種目を有する団体	400千円(8人)	200千円(8人)	100千円(8人)	国体1位の種目を有する団体																														
	国体2位の種目を有する団体	200千円(8人)	100千円(8人)	100千円(8人)	国体2位の種目を有する団体																														
	国体3位の種目を有する団体	100千円(8人)	50千円(8人)	200千円(8人)	国体3位の種目を有する団体																														